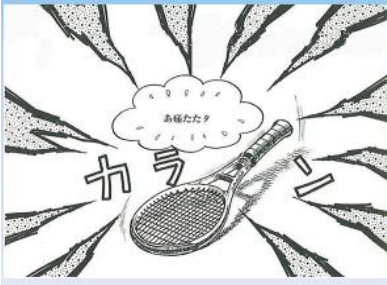


# 全日本医師テニス大会 (2009-2014) における 障害調査



日本医師テニス協会

担当：林 光俊  
徳永昌子  
萩原博道  
原文雄  
矢住孝昭  
イラスト：石川正順

(2015.07.27作成)

## 【目的】

1大会で約300名が出場する  
医師のテニス全国大会における  
テニススタイル と 障害調査  
医師ならではの治療・予防方法を調査した



開会式

## 【方法】

### 全日本医師テニス大会

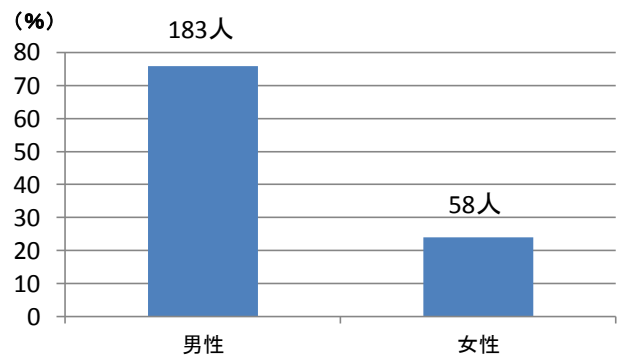
09年10月 広島大会  
10年10月 山口大会  
11年10月 千葉大会  
12年11月 熊本大会  
13年10月 大阪大会  
14年10月 福岡大会

に参加した選手へ

37項目のアンケート調査を行った  
一人一回のみで、アンケートは重複提出を避けた

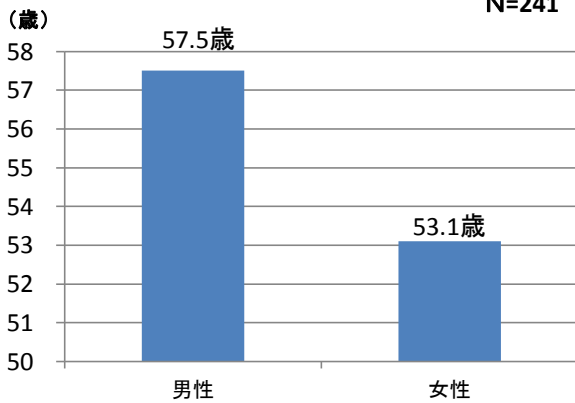
### A・性別

N=241



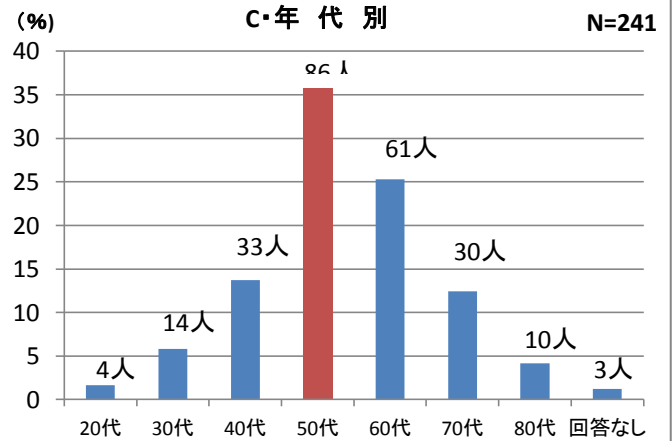
### B・平均年齢

N=241



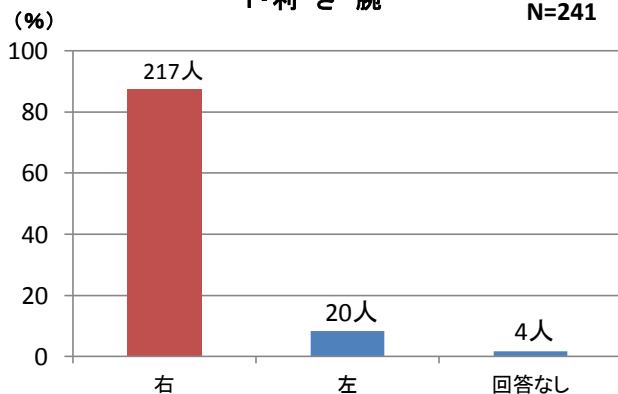
### C・年代別

N=241



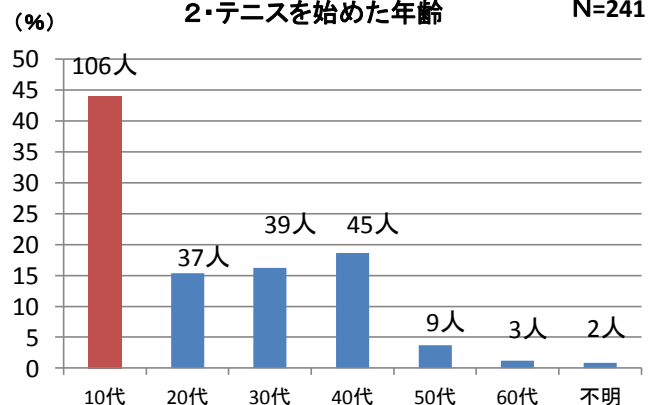
### 1・利き腕

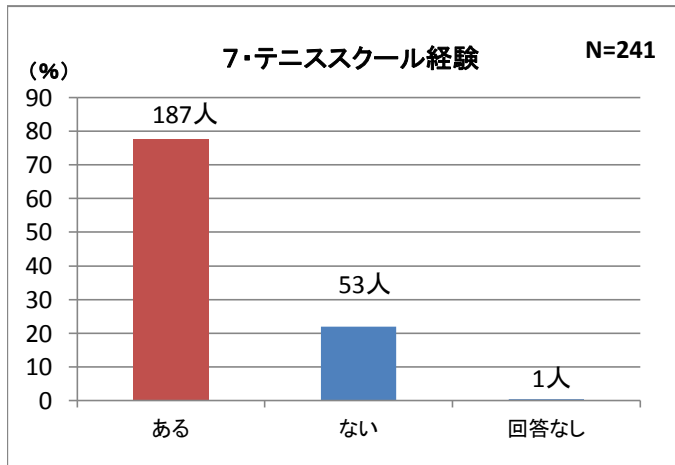
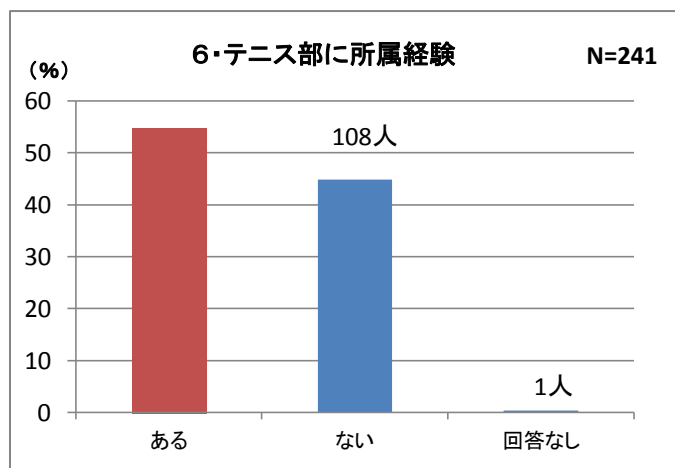
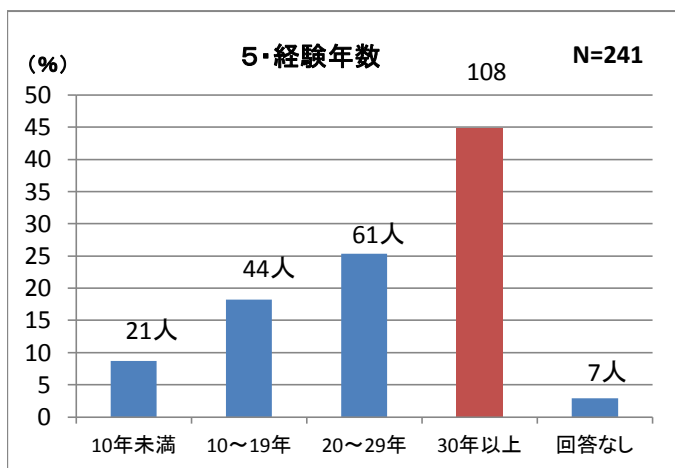
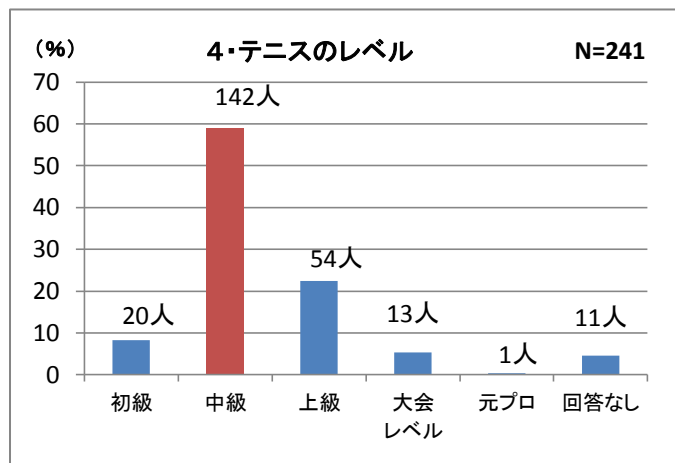
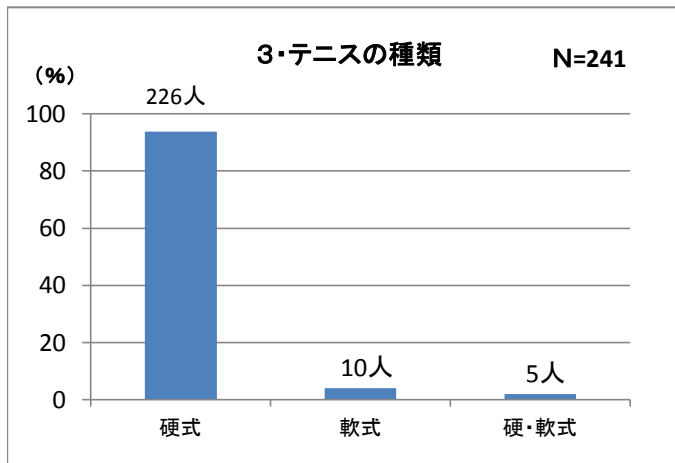
N=241



### 2・テニスを始めた年齢

N=241





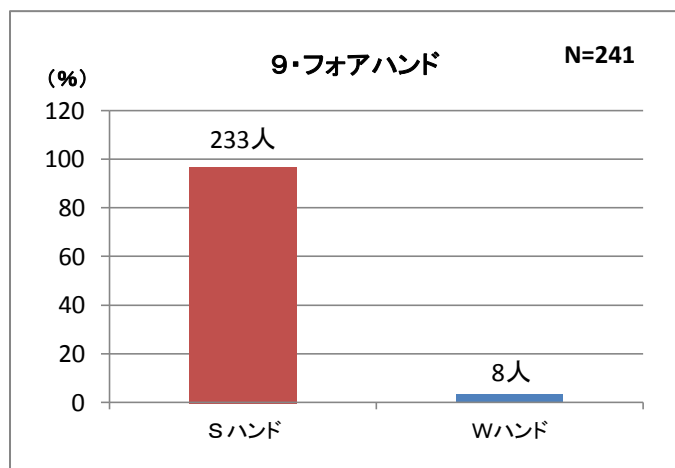
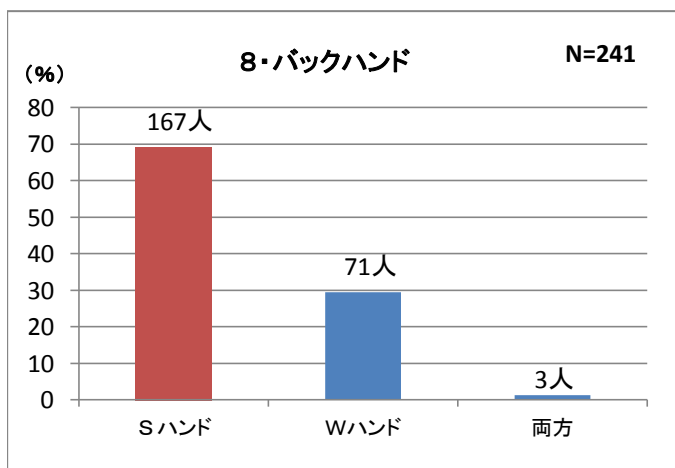
**テニスを始めた年齢は10才代が最も多く44.0%で、経験年数は30年以上が44.8%と最も多かった。**

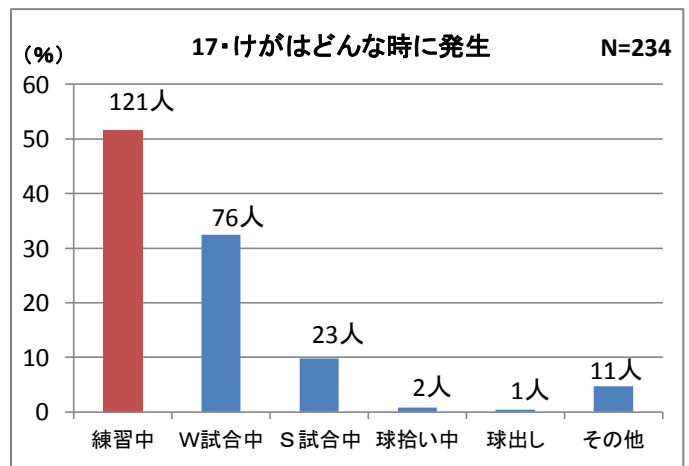
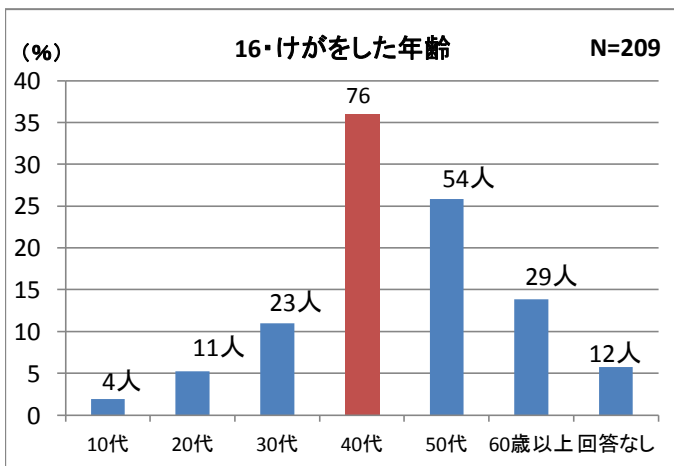
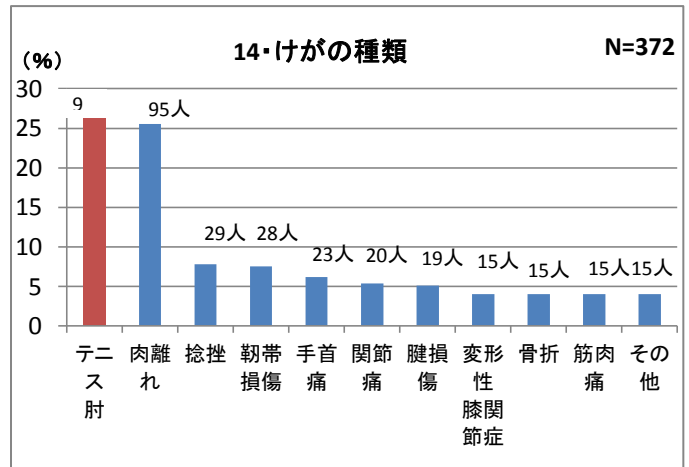
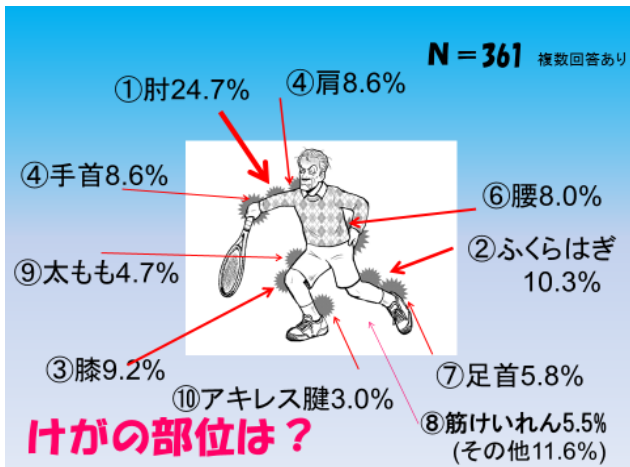
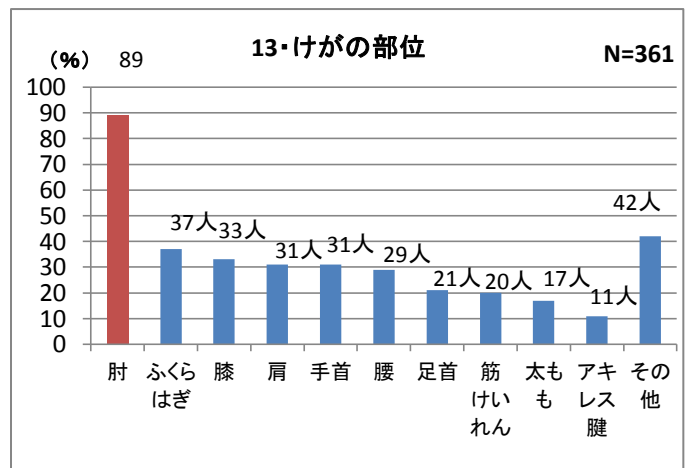
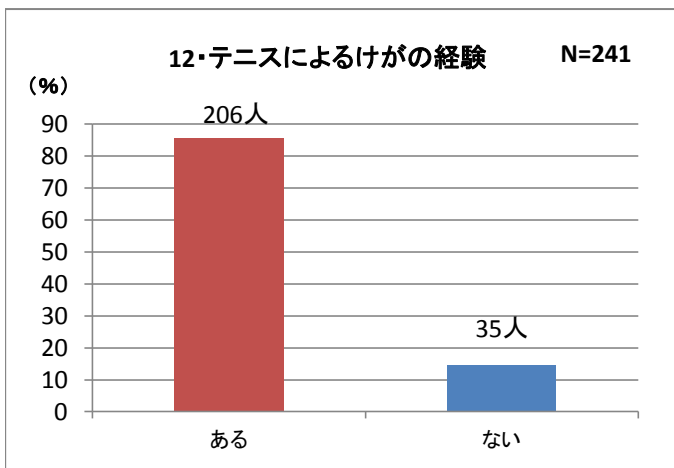
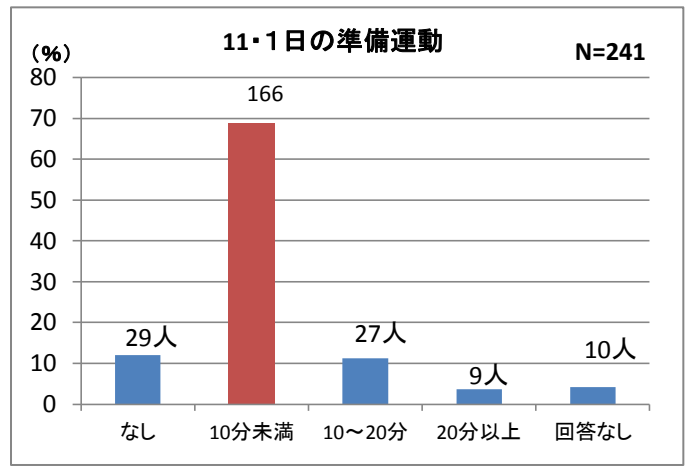
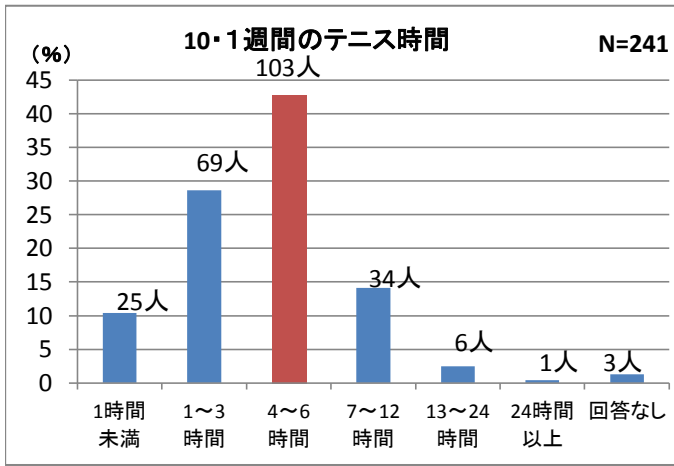
**(自己評価) テニスレベルは中級が58.9%、中上級者以上で87.1%を占め、皆テニス腕自慢者であった。**

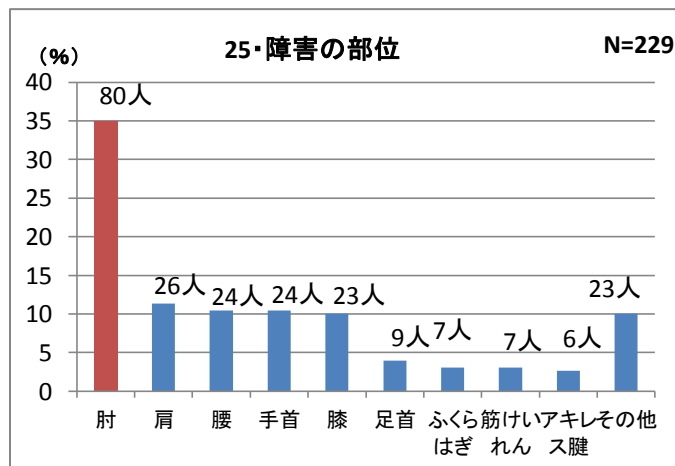
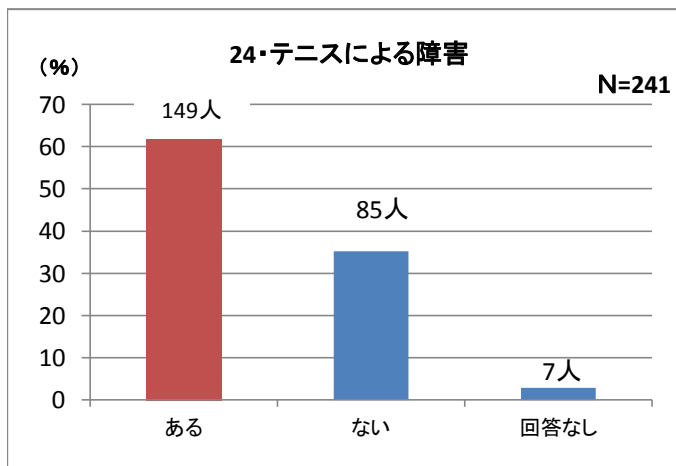
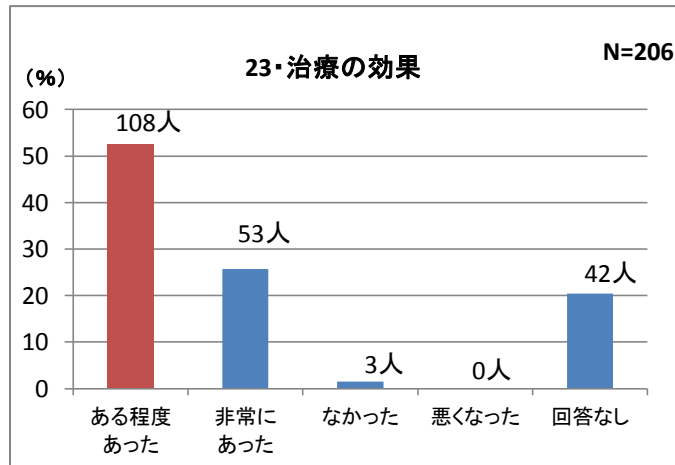
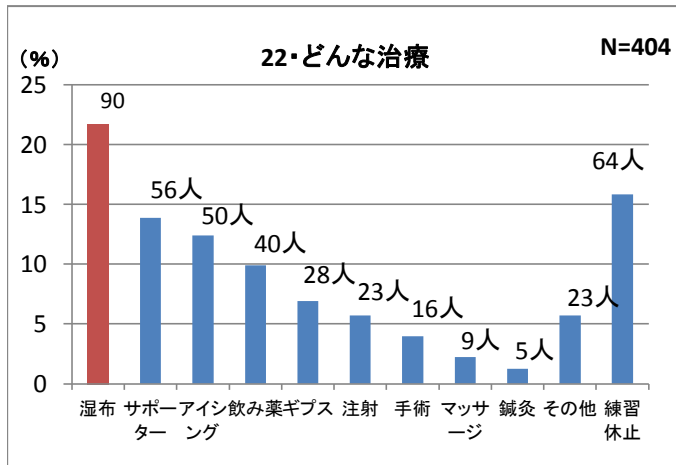
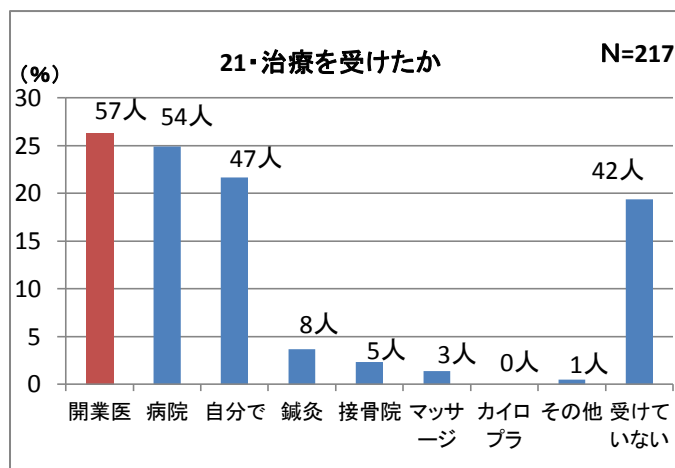
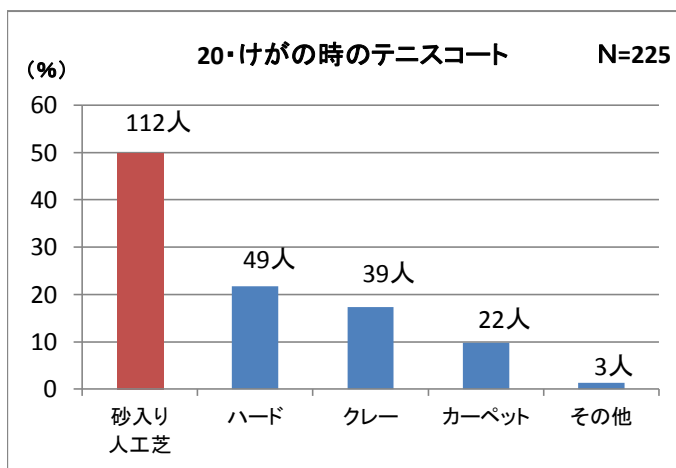
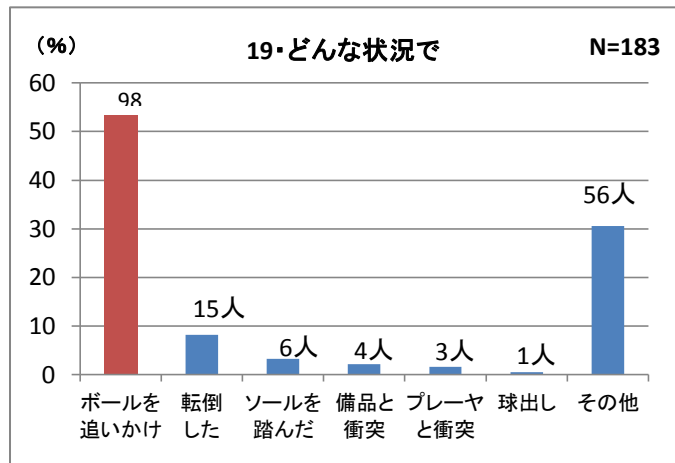
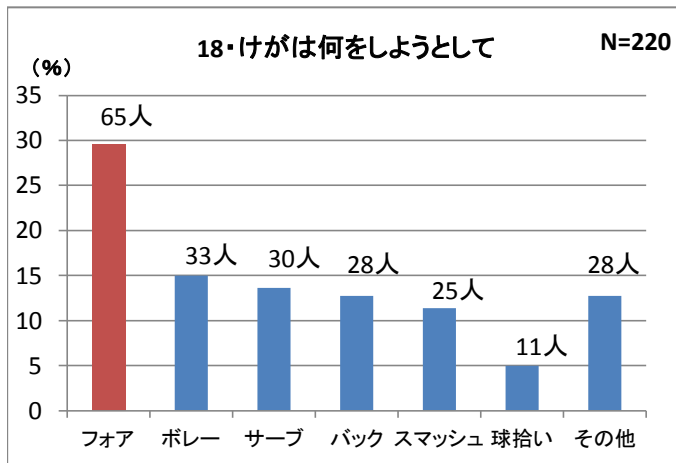
**学生時代にテニス部経験者は54.8%で、テニススクール経験者は77.6%と、自己流選手は少ない。**

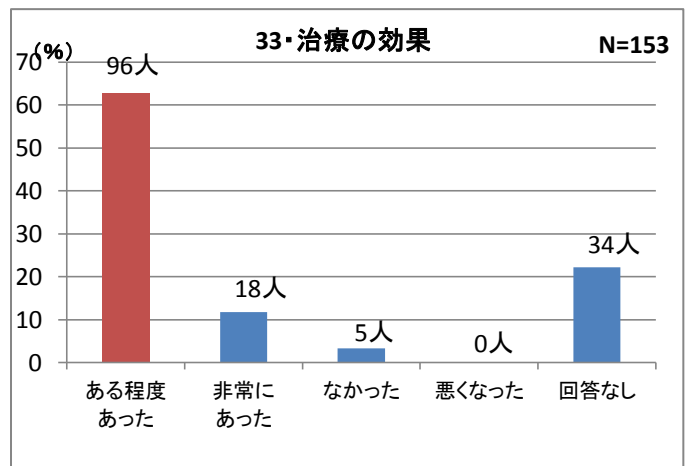
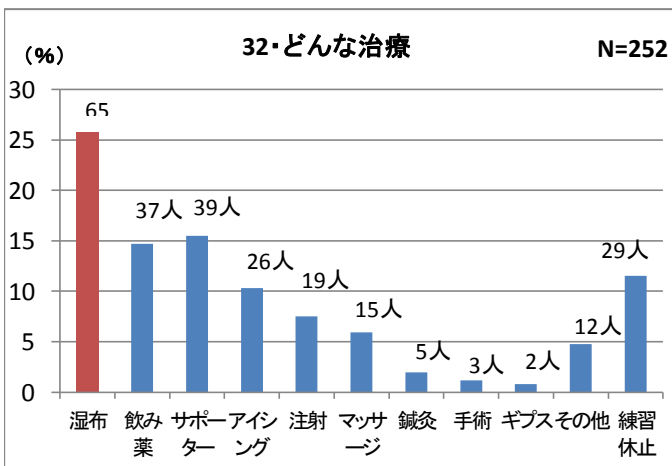
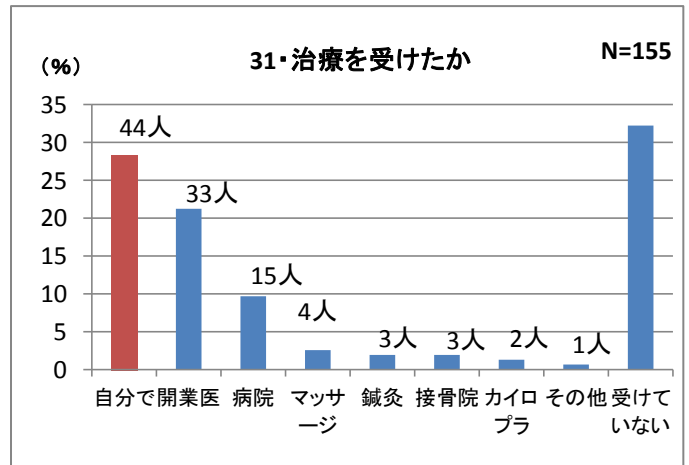
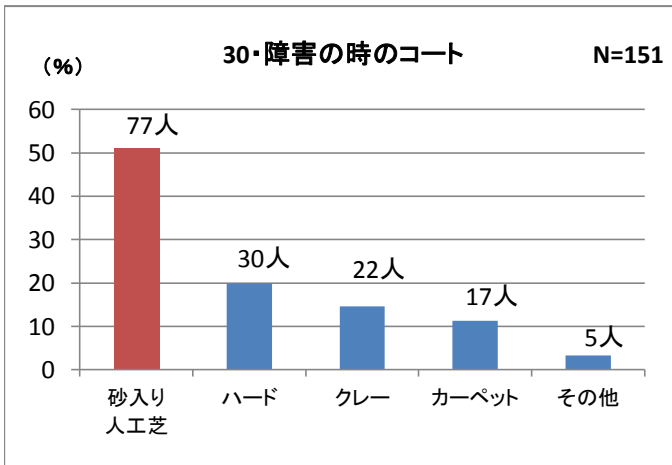
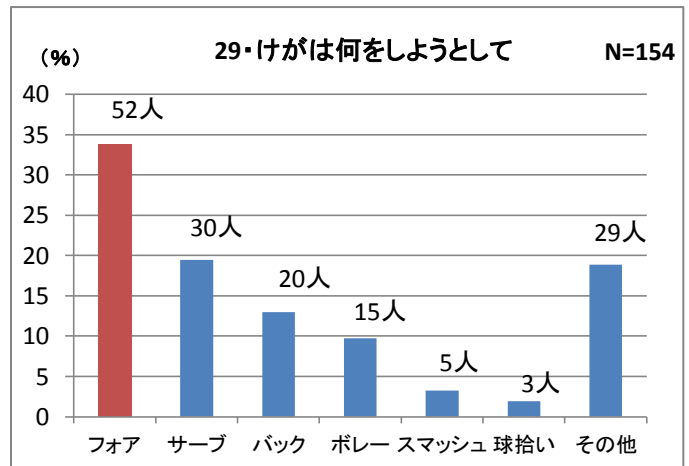
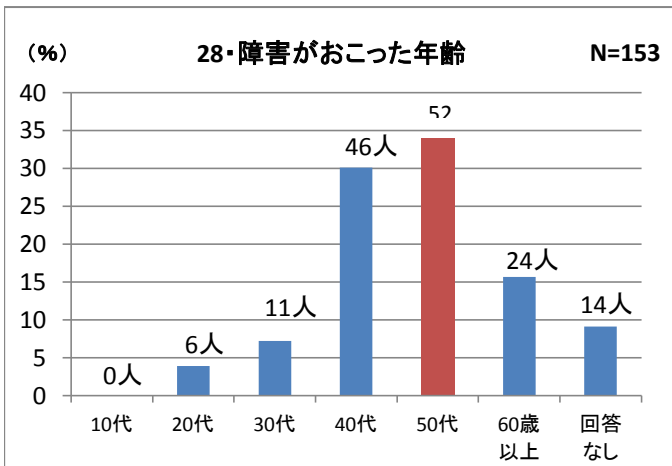
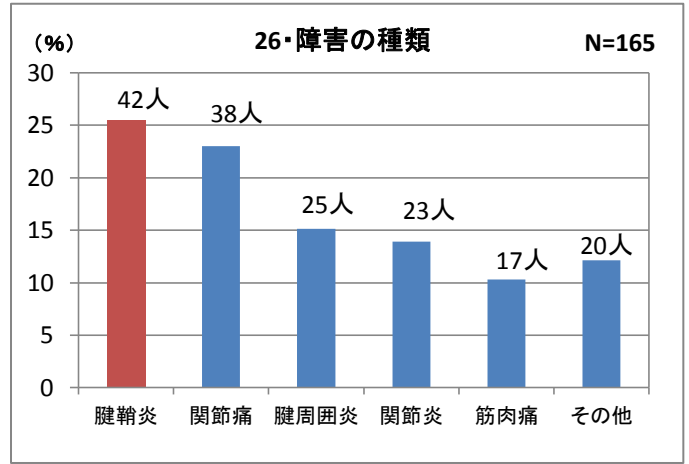
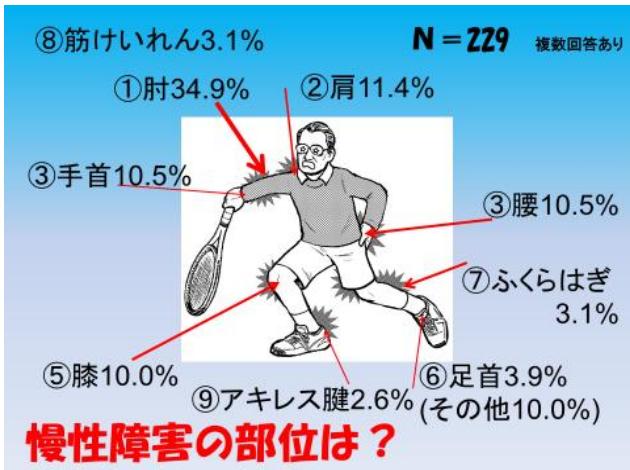
ドクター 妙にうまいね

学生時代 少々かじってたもので

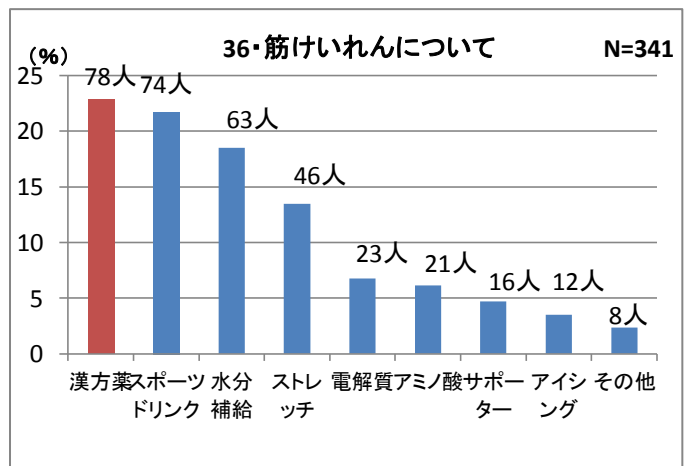
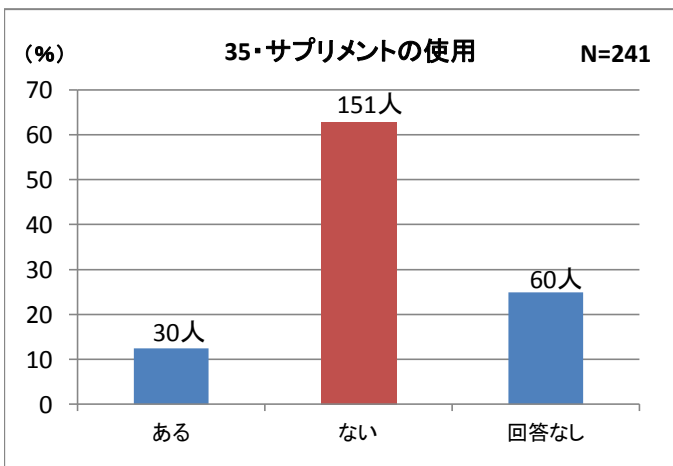
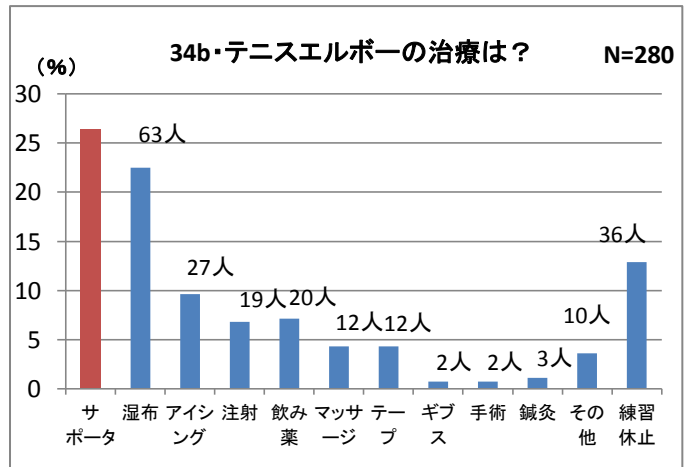
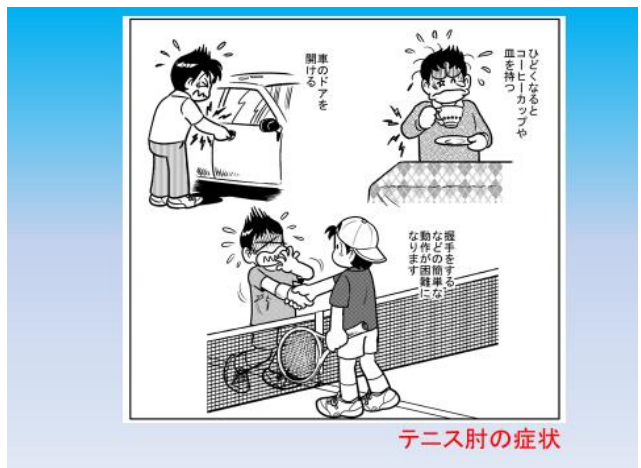
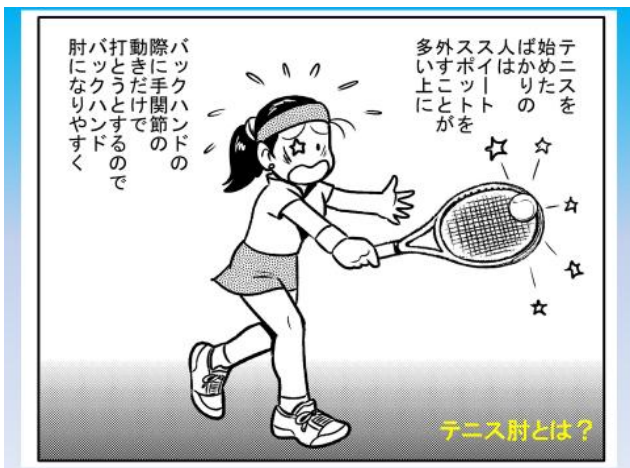
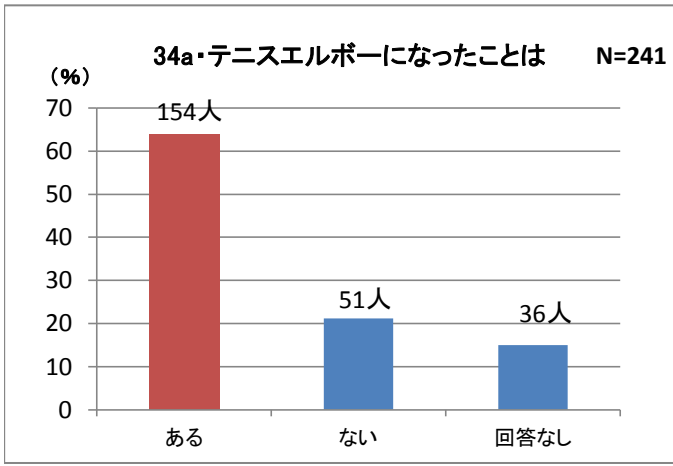


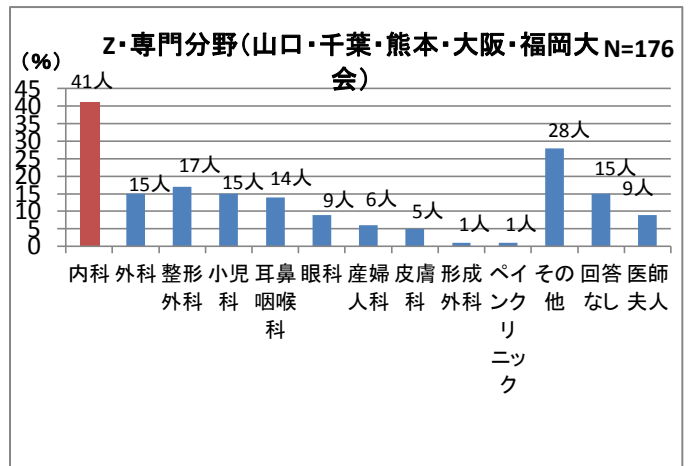












**参加した平均的医師テニス選手像**

平均年齢**58歳** 経験年数**30年以上** 主に中上級者  
フリースタイル：**片手フォア** & **片手バックハンド**

準備運動**10分未満** (あまりしない)  
怪我しても**自分で治す? タイプが多い**。  
独特の治療法は持っているようで、、、**ホント?**  
怪我に対する診断などは**的確に把握していた**。

**まとめ**

参加者最高年齢**87歳**の2名を筆頭に、  
医師テニス競技の  
全国大会に参加した選手は、  
経験年数が**30年以上**で、  
平均年齢が**58才**と一般競技に比べ  
高かった。

演者自身が大会に参加した印象として、  
テニス好き医師は**自身で健康管理に努め**、

テニスライフを**エンジョイ**しており、  
年齢が高くなっても**元気に活動していた**。  
(見習いたい!)

**ご協力ありがとうございました**

**Game set & match**

Japan Medical Tennis Society  
2015. 07. 27 作成

